

もみじ

【ホームページ】http://akihaku-dai1.city-niigata.ed.jp



~一幼メンバー、勢ぞろい~ (保護者作)

秋を満喫!

園長室にとてもいい香りがしてきました。窓から外を眺めてみると、園庭の中央にある木が 黄色い花でいっぱいです。春からずっと「なんの木かな?」と思案していたのは金木犀の木で した。新津第一幼稚園のシンボルツリーになりそうですね。

先日は、秋葉山散策に出かけてきました。幼稚園から、上りの往路は子どもの足で1時間弱を予想していましたが、なんと40分で噴水のある正面広場まで到着。歩き慣れている年長組、年中組さんはもちろんですが、今年の年少さんも満3歳児さんもよく歩きました。年長さんや年中さんが上手に手を引いてくれたお陰ですね。



この日の私の万歩計は約8千歩でした。子どもたちはもっと歩数は上がっていると思います。コロナ禍によって生活様式は大きく変わりました。外で子どもが遊ぶ姿をほとんど見ることもなくなりました。子どもたちの体力は蓄積されているのでしょうか。日本幼児学会会長の前橋明氏(早稲田大学教授)によると、幼児の健全育成の目安とされる一日の歩数は8千~1万歩といいます。最近では「歩育」という言葉もあります。これは「歩くことで社会の環境や自然と触れ合い、体験を通して子どもの心身を育む教育」とうたわれています。「歩育」で得られる効果は、①運動能力の向上、体力がつくこと ②五感を刺激、脳の成長を促すこと ③血行促進、セロトニンで心が安らぐこと。セロトニンは「幸せホルモン」と呼ばれる脳内物質の一つです。適度な運動や太陽を浴びることで分泌され、心の安定には欠かせないといわれています。間もなく灰色の雲に覆われる新潟の冬がやってきます。過ごしやすいこの時期、山あり川ありの近隣をお子さんと一緒に歩いてみませんか。

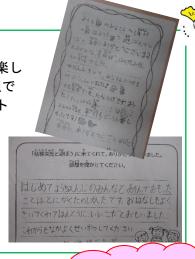
さて、明日は一幼祭です。各学年で日頃遊んでいるもの(製作物)を遊戯室に展示します。 生活の中で経験したことが絵に描かれたり、その子なりに考えたことを様々な素材やこれまで 身に付けてきた技量を発揮したりして作っています。ある時、作ったり描いたり、友達とおし ゃべりをしている年少組から鼻歌が聞こえてきました。♪どんぐりころころ(作詞 青木存義 作曲 梁田貞)』の歌でした。2番までの歌ですが、実は「幻の3番」があるのです。原曲の作 詞者 青木氏によると「子どもたちにその続きを作ってもらいたい。」という想いで2番まで しか作らなかったとか???「幻の3番」は1986年、作曲家 岩河三郎氏によって作られまり した。幼稚園でも歌っています。

スポーツの秋、芸術の秋……何をやるに も心地よい時期です。どうぞお子さんと一 緒に過ごす時間を満喫してください。

ようちえんのこどもと遊ぼう!(幼小連携)

10月は一小の3年生が来園しました。年少組では、子どもたちが楽しんでいる「おおかみさん 今何時?」で追いかけっこをしたり、年中組では「フルーツバスケット」をしたりして遊びました。6月からスタートした小学生と遊ぶ会です。会を重ねる度に、子どもたちは、お兄さん、お姉さんの顔や名前を覚えて、小学生が来てくれることをとても楽しみにするようになりました。

小学生からも、幼稚園に遊びにきた感想を寄せてもらいました。 一人一人の思いがこもった素敵な文章がいっぱいです。漢字にフリガ ナをふってくれたり、絵で表現してくれたりして学年の育ちの姿が伝 わってきます。作品展当日に展示しますのでどうぞご覧ください。



ごみ収集車の仕組 みも見せてもらう ことができました

親子でごみ拾い②(県P事業)

親子で近隣のごみ拾いに出かけました。今回は2回目です。子どもたちは、大体ごみがありそうな場所が分かってきて、路地の入口や徒線橋下の公衆トイレの裏……と、プラスチックの破片やたばこの吸い殻等々、一生懸命拾ってきました。子どもたちの「きれいにしたい!」という気持ちを大切にしていかなければと思いました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



「あった!」と商店街でごみを拾う 年中組さん。







ひよこの会の日、みんなの足トンネルを順番にくぐりました。



第2回学校運営協議会にて、参観の様子。



園外保育が雨で中止となり、「一小 森」へみんなで探検にでかけました。



探検の後は、遊戯室でお弁当をいただきました。おいしいね!



一中2年生の職場体験。 思い 切り鬼ごっこを楽しみました。



待ちに待った芋ほり。 とった ツルも炒めて食しました。



園庭で捕まえた虫たちを、 じっくり観察中!



ー小さんからいただいた渋柿を さわしました。全部で60個!